

I-7. 科学技術予測における世界の動向把握と 地域連携ワークショップの実施業務

Seminars on overseas science and technology forecasting activities
and workshops on regional cooperation

 キーワード	科学技術予測、フォーサイト、地域ワークショップ
Key Word	S&T Forecasting, Foresight, Regional Workshops

1 調査の目的

本調査は、科学技術・学術政策研究所からの委託調査で、次期「科学技術予測調査」に向けて検討の方向性やプロセス等について示唆を得ることを目的に、諸外国の未来予測等の現状について、海外専門家によるフォーサイトセミナーと、地域の多様な参加者による未来の在り方の検討（地域連携ワークショップ）を行った。

フォーサイトセミナーは、オンライン形式で3回に分けて開催し、各国・地域のフォーサイト活動の事例を踏まえ、実践上の課題等についての意見交換と、フォーサイトにおける共創（多様なステークホルダーをいかに巻き込むか）と創造性（想像力、インスピレーション、ナラティブ、ストーリーテリングをいかに活用するか）をテーマに、フォーサイト活動における協創と参加型未来予測の事例を踏まえた意見交換を実施した。

また、地域連携ワークショップでは、山形県、愛知県及び岐阜県周辺の2つの地域を対象に、当該地域の大学等と連携し、2040年から2050年頃の地域の未来像に関する検討を行い、未来像の中長期的な方向性を把握した

2 調査研究成果概要

2.1 調査の構造

本調査は、①未来像検討における諸外国の現状と今後の在り方の検討（海外専門家によるフォーサイトセミナー）と、②地域の未来像の検討からなる。

①海外専門家によるフォーサイトセミナー（オンライン）では、諸外国の予測調査の最新事例を収集するとともに、未来像検討のプロセスや手法について知見を収集・整理した。また、諸外国の予測調査の最新事例を収集した。

②地域の未来像の検討では、山形、愛知・岐阜の2地域を対象に、地域の目指す姿やその推進手段について、地域ワークショップを通じて検討し、その結果の取りまとめを行った。山形地域のワークショップは、オンラインで開催し、愛知・岐阜地域でのワークショップは対面形式で実施した。

2.2 調査の内容

2.2.1 未来像検討における諸外国の現状と今後の在り方の検討

海外専門家によるフォーサイトセミナーは、新型コロナウイルス感染症禍で実施するため、全てオンライン（利用サービス：Zoom）で同時通訳を準備し開催した。なお、セミナーでは、一般的なオンラインセミナー（Zoom webinar）ではなく、講演者とフォーサイトに関心を持つ参加者間で取組みに係る課題や今後の方向性を共有できるよう、質疑応答が容易であるミーティング形式で実施した。

表 1 セミナーの概要

セミナー開催回	概要
第1回セミナー	ロシア、エジプトにおけるフォーサイト活動の方法論、実践上の課題についての意見交換。
第2回セミナー	ASEAN 地域及びタイにおけるフォーサイトの取組みと、中国・上海におけるフォーサイトの取組みの方法論、実践上の課題についての意見交換。
第3回セミナー	欧州のフォーサイトにおける共創と創造性の取組みについて、ドイツ、欧州委員会の事例を踏まえ、ステークホルダーの関与、専門的知見や先端分析技術との融合、共創や創造性を活用するための課題等の意見交換。

2.2.2 地域の未来像の検討

地域の未来像を検討するための地域連携ワークショップでは、i) 進行方法の検討、ii) 開催準備、iii) ワークショップの運営（ファシリテーションを含む）、iv) ワークショップの実施に係る事務処理、v) 結果のとりまとめ等を実施した。地域連携ワークショップでの検討内容については、下記のとおりである。

表 2 地域連携ワークショップでの対話の手順

検討手順	検討内容
全体対話①	NISTEP 未来ビジョンをふまえ、新型コロナウイルス感染症、地域課題の進展等をふまえ、将来社会への期待と懸念を抽出。
全体対話②	将来の姿に対して、テーマ別の望ましい未来を対話。テーマ別対話のための要素を提示。
テーマ別対話①	望ましい未来を踏まえた 2050 年頃の状況を対話。 2050 年頃のテーマを実現する科学技術、社会制度等の議論（目標、取組等）。
テーマ別対話②	2050 年頃のテーマを実現するステークホルダー別の戦略・施策についての対話と、留意点・懸念点の抽出。

なお、地域連携ワークショップでは、2050 年頃の社会を想起した検討を行うため、国立社会保障・人口問題研究所の『日本の将来推計人口（平成 29 年推計）』、『日本の世帯数の将来推計(全国推計)』(2018(平成 30)年推計)等から、ワークショップ開催地域周辺の 2045 年頃の人口、世帯数の推計値を示し、2045 年から 2050 年頃の地域の状況（人口的側面での現在と将来における人々の暮らし）を示した。また、地域の未来ビジョンに関連する資料として、地方公共団体や地域の経済団体等が策定する将来ビジョンに係る資料等も整理し提示した。

※本調査は、文部科学省科学技術・学術政策研究所の委託調査で実施したものである。